

# 平成 30 年第 3 回清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会 議事録

日時:平成 31 年 2 月 22 日(金)

14:00～15:30

場所:岐阜県庁議会西棟3階 第2会議室

## 1 開会

[司会 (永井 恵みの森づくり推進課管理調整監)]

みなさまお揃いになりましたので、ただ今から会議を開催いたします。

本日は、「清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会」の開催にあたり、ご多忙のところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

私は本日司会を務めさせていただきます、恵みの森づくり推進課の永井と申します。

本日は議事の中に審査案件がありますので、非公開で開催させていただきます。

また、本日の資料のうち、審査案件に係る資料につきましては、審議会終了後、事務局で回収させていただきますので、ご協力をお願いします。

それでは、まず、林政部長よりご挨拶を申し上げます。

## 2 あいさつ

[高井 林政部長]

(あいさつ) ～略～

[司会]

続きまして、本審議会の会長の、小見山先生からご挨拶をお願いいたします。

[小見山 会長]

みなさん、こんにちは。

今日、みなさんに審議していただくのは、林政部長もおっしゃったように、提案事業ということで、社会の機動力を高める事業ということでよろしくをお願いします。

市町村提案事業については、来年度から始まる、国の譲与税の開始が若干関係してくることがあるのかもしれませんが。

市町村提案事業のシートをみると、かなり熱意が感じられるということで、おもしろい企画があります。

新規事業が継続事業に加わって、その競争関係の中でいいものを採択していくというスキームになるということで、よろしくご審議をお願いいたします。

[司会]

ありがとうございました。

本日の出席者は、お手元の出席者名簿をもって紹介にかえさせていただきます。

会議終了時間は 15 時 30 分を目処にしております。会議進行等につきましてご協力をお願い

いたします。

それでは、このあとの会議の進行につきまして、小見山会長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

### 3 議 事

[小見山 会長]

それでは、只今から会議を進めてまいります。

はじめに、平成31年度清流の国ぎふ提案事業の採択についてのうち、市町村提案事業の採択について事務局から説明をお願いします。

#### ●平成31年度清流の国ぎふ提案事業の採択について

○市町村提案事業の採択について

[説明1 (中根 恵みの森づくり推進課長)]

(資料1、2、3により説明)

～略～

※[中略] 審査案件事項のため非公開

#### ●平成31年度清流の国ぎふ提案事業の採択について

○地域活動支援事業の採択について

[説明1 (中根 恵みの森づくり推進課長)]

(資料4、5、6により説明)

～略～

※[中略] 審査案件事項のため非公開

### 4 報 告

#### ●地域活動支援事業の学生提案について (報告)

[中根 課長]

(資料7により報告) ～ 略 ～

[小見山 会長]

徳地先生、いかがですか。残念な感じで。

[徳地 委員]

残念ですね。

これ、大学のサークルというか、若手研究者が応募することもできるのでしょうか。

例えば教育学部のポスドクの方が、森林を使って教育プログラムを立てようとかカリキュラムを作ろうといった場合があると思うんですけど、そういった場合に使っていただいたら面白

と思うんですけど。

その場合、事務処理は大学がしてくれるので、応募できると思うんですけど。  
団体は多分、大学が肩代わりしてくれると思います。

**[笠井 委員]**

その場合、学生というよりも大学向けの事業になってしまうと思います。  
会計処理を大学がするのであれば、大学向けということになるのではないのでしょうか。

**[徳地 委員]**

研究費の場合、学生が取ってきて、割と大学が処理してくれるんですけど。

**[笠井 委員]**

この募集要領を読むとそういったことは難しいのではないのでしょうか。

**[徳地 委員]**

そうですね。  
私は高等学校の生物部のようなところが、できるのではないかと考えていたんですが。  
またご相談があったら、対応していただくようお願いします。

**[中根 課長]**

はい。

**[小見山 会長]**

そういうクラブ活動で会則を持っているようなところはなかなかなかったということですよ  
ね。

ただ、その反面、あくまで学生からのボトムアップでやっていくべきものでもあると思いま  
すので、先生方が口を利いてはダメだと思います。

例えば学生からボトムアップする際に、大学にはなんとかセンターというのがありますので、  
そういったセンターを窓口にしてやるというのは一つの方法かもしれません。

農業高校なんかも、部活を一つの窓口でまとめてもらってやれば、そういう道はあるかもし  
れませんか。

広く広く、いろいろな学校に出していくべきだと思います。

**[笠井 委員]**

フォーマットがあれば、学生なんかは規約とか簡単に作ってしまうかもしれませんね。  
そこに大学がアシストすればいいかもしれませんね。

**[所 委員]**

これ、団体としての事務や会計処理の方法が定まっているというとですよ。

これ、到底小さい団体では無理ですので、私先ほどこの件でご質問しようと思っていたのですが、団体が何か活動する際に、若い研究者等を仲間に入れてやると採択されやすいですよというようにすれば、若い人がこういった事業に参加してくるのではないのでしょうか。

私確認したのですが、今回申請された団体は、ほとんどホームページを持ってみえますね。

**[小見山 会長]**

これは徐々に研究しながら、磨きながら、事務局で進めてください。  
では、この件はこれでいいですね。

## ●里山林整備事業の危険木について（報告）

**[中根 課長]**

（資料8により報告） ～ 略 ～

**[小見山 会長]**

これについて、いかがですか。

これ、危険木というのは人命に関わりますから。まあ、公園で危ない木があったら管理者が  
ってことだと思いますが、管理者が気づかない場合もありますよね。

例えば育樹祭をやった場所で、倒れるというか、掛かり木になっている木がけっこうあった  
のですが、こういうのは誰が伐るんですか。

この事業とは直接関係ないですが。

**[中根 課長]**

所有者ということで、揖斐川町になると思います。

先ほども申し上げましたが、危険木の状態によって、人力で実施するものや機械を必  
要とする場合もありますので、機械を持ち込む必要がある場合、なかなか一般の方では  
対応できませんので、その場合はこの事業を活用していただければと思います。

**[小見山 会長]**

そういった場合、どのように要望すればよいですか。

**[中根 課長]**

自治会から、町へ相談していただければと思います。

**[小見山 会長]**

揖斐川町のケースをみると、絵に描いた餅をたくさん作ることも大事だけど、監視体制みたい  
なものを整えていくことも重要かなと思いました。森林・環境税でそれをやるかはわかりませ  
んが。もっと安全に結びついたチェックができるかどうかではないのでしょうか。

みなさん、よろしいでしょうか。

では、次にまいりましょう。

●木育拠点施設「(仮称)木のふれあい館」について(報告)

[藤掛 木育推進室長]

(資料9により報告) ～ 略 ～

[小見山 会長]

こういったすばらしい建物ができるといことですが、みなさんいかがですか。

[笠井 委員]

すばらしいと思いますが、木育という語感からすると語感どおり、次世代向けという感じがしますが、一方でこの森林・環境税事業で設置場所がないと苦勞されている、ペレットストーブ等について、この施設で普及推進する要素も盛り込めないでしょうか。

例えば、普段そこでどンドンストーブを焚くというのは供給体制からも大変ですので、せめて来場者にストーブを見ていただいて、子どもだけでなく、大人向けの要素があるといいと思います。その点について教えていただきたいです。

[藤掛 室長]

まず、子どもが中心になるということは否めません。ただ子どもだけの木育ではなくて、ぎふ木育はすべての世代、生まれてから30年のサイクルで循環してくるとい輪廻の世界を描いておりますので、大人も含めた対象にしてきたいと思います。またこの地域がぎふ清流福祉エリアですので、老人福祉であるとかそういった分野とも連携してまいりたいと思います。

ペレットストーブは考えましたが、大空間のためペレットストーブの熱効率から導入を断念しました。

[平井 次長]

この館ですべての機能をカバーするというのは難しいのでございまして、ここはどちらかといと都市住民を導くゲートウェイ的な役割を果たすことを目的としています。

なお、森林文化アカデミーの方に森林総合教育センターというものを同じ時期に開校を目指して準備中でございます。そちらの方はより山に近い教育ということで、役割分担して進めてまいりたいと思いますので、ここは都市住民の入り口として捉えていただきますようお願いいたします。

[小見山 会長]

ずいぶんパースの壁が白いですね。

[藤掛 室長]

まだイメージを詰め切れていないところを白くしております。

[竹中 委員]

昨日、テレビを見ておりましたら、木のおもちゃの展示があったのですが、ご覧になられましたか。

**[長沼 次長]**

愛知県の愛知教育大学の先生が開発したものです。

**[藤掛室長]**

岡崎でやっておりますので、うちの職員を数名行かせました。

**[竹中 委員]**

たいへん長い滑り台があって、よちよち歩きの子どもが目を輝かせていて、大変よい施設だと思いました。

一回ではなくて、何回も行きたいと思えるような施設だと良いと思いました。

**[小見山 会長]**

他にご意見はありますか。

短い時間でしたので、他に質問があれば、事務局まで提出して下さい。後日回答されます。

では、以上をもちまして議事を終了させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

それでは、事務局へお返しします。

**[司会]**

小見山先生におかれましてはありがとうございました。

長時間にわたりまして熱心なご議論、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

閉会にあたりまして、環境生活部長よりお礼を申し上げます。

**[石原 環境生活部長]**

(あいさつ) ～略～

**[司会]**

会議冒頭でお願いしましたとおり、今回の審査に係る資料は回収させていただきます。資料1～6はその場に置いてお帰り下さい。

なお、本日の議事録につきましては、後日まとめて皆様にお送りするとともに、県のホームページに掲載したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。